

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004000	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	若者定住促進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成22年度 ～ 全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市新たな出会い支援事業 補助金、鳥取市若者定住促進 事業補助金、「すごい！鳥取市」 婚活サポートセンタ
1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 施策の 目標	目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(任意) 運営方法 補助金交付 会計区分 一般会計
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	
	待機児童の数		0人	0人	
予算	予算事業名	若者定住促進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-09

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	①鳥取市内に在住又は在勤の結婚を希望する者 ②県内外の若者 ③若者団体
意図 (どのような状態 にするために)	①結婚を希望する者を対象に、出会いから結婚までフォローアップ等を行うことで、結婚による定住を促進し、地域の人口増加を図る。②若者を対象とした「婚活」事業の実施を支援することで、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図る。③若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図る。
手段 (どうするのか)	①参加しやすい婚活イベントを実施しながら、自己啓発セミナー、相談会等の支援を実施する。 ②出会いの場の設置開催や、話し方やマナーの向上、結婚に関する一般的な知識習得のための研修など、結婚を希望する者への支援を行う。 ③若者が主体的に行う、若者のためのイベント、交流活動、情報発信などの活動への支援を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①該当事業への補助金の交付	平成29年度 ①運営方法の見直しの実施 ②婚活イベントの実施	平成30年度 ①婚活イベントの実施	平成31年度 ①婚活イベントの実施	平成32年度 ①婚活イベントの実施	
	年度別実績	①婚活サポートセンター運営補助1件、新たな出会い支援事業0件、若者定住促進事業2件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	11,746	0	0	0	0	
	直接経費 A	11,746	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,322	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,424	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]成婚数	組	目標	15	30	45	60	0	
			実績	8	0	0	0	0		
	(指標の説明) すごい！鳥取市婚活サポートセンターやまちづくり団体による出会い創出事業から結婚に至った組数。									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P36（企003）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①「すごい！鳥取市」婚活サポートセンター運営補助金 独身者を対象とした「婚活」事業の実施及び婚活サポートセンターの運営を支援することで、結婚による若者定住を促進し、地域の人口増加を図る。</p> <p>②新たな出会い支援事業費補助金 出会いの場設置開催、話し方やマナーの向上、結婚に関する一般的な知識習得のための研修事業を行う民間団体等について、その開催費用の一部を支援する。</p> <p>③若者定住事業費補助金 若者を対象としたイベント・情報提供などの実施を促進することで、地域への愛着を持ち、定住する若者世代を増やしていくことを図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>①「すごい！鳥取市」婚活サポートセンター運営補助金 平成28年度 登録者数1,433人 カップル数59組 成婚数8組</p> <p>②新たな出会い支援事業費補助金 平成26年度 4団体 参加者数190人 平成27年度 2団体 参加者数73人 平成28年度 公募を実施したが、応募がなかった。</p> <p>③若者定住事業費補助金 平成26年度 2団体 参加者数5,283人 平成27年度 3団体 参加者数1,312人 平成28年度 2団体 参加者数1,030人</p> <p>【今後の課題・方向性】 婚活サポートセンターと周辺自治体との連携を強化するため、運営方法を見直す。また、新たな出会い支援事業費補助金は、実績の状況や婚活サポートセンターのサービス提供内容を踏まえ、内容の見直しを実施。若者定住事業費補助金についても、事業開始から3年が経過したため、見直しを実施。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】成婚数	53%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	新たな出会い支援事業費補助金については、公募を実施したが応募がなく、交付件数は0件であった。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	婚活サポートセンターについて、参加しやすい婚活イベントを開催することで、登録会員数、参加者数等は順調に伸びているが、想定より出会ってから結婚に至るまでに一定期間を要する傾向にあるため、成婚数が伸びていない。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> フォローアップ及びニーズに合った出会いの場の提供の充実、並びに増加した登録会員に対応するため、会員管理システムの開発の実施、婚活サポートセンターと周辺自治体等との連携強化を図る。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004100	重点施策	ひとつづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	妊娠・出産包括支援事業		所属名	健康こども部 こども発達・家庭支援センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成26年度 ～ 全期
	政策 施策	02 1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり 結婚・出産・子育て支援	根拠法令、 根拠計画等	
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法
	待機児童の数		0人	0人	会計区分
予算	予算事業名	妊娠・出産包括支援事業費		予算事業コード	01-03-02-01-60-05

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	望まない妊娠であったり、母のメンタル不調や育児不安が強い、経済的に困窮しているなど、特に支援が必要な妊婦。家族から十分な援助が受けられず、かつ、体調不良や育児不安等がある産婦と生後3か月までの乳児。
意図 (どのような状態 にするために)	妊産婦等の支援ニーズに応じ、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を包括的にを行い、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整える。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健相談支援事業（支援が必要な妊産婦の支援のコーディネート）</li> <li>産前・産後サポート事業（生後4か月までの乳児の一時預かりを委託により実施。）</li> <li>産後ケア事業（体調不良や育児不安等がある産婦と生後3か月までの乳児の母子宿泊ケアを委託により実施。）</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		①乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業②乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業 ③乳児と母親が日帰りで育児手技等の助言を受け育児不安を解消する母子デイサービス事業	①乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業②乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業 ③乳児と母親が日帰りで育児手技等の助言を受け育児不安を解消する母子デイサービス事業	①乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業②乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業 ③乳児と母親が日帰りで育児手技等の助言を受け育児不安を解消する母子デイサービス事業	①乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業②乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業 ③乳児と母親が日帰りで育児手技等の助言を受け育児不安を解消する母子デイサービス事業	①乳児を日帰りで一時預かりする乳児一時預かり事業②乳児と母親と一緒に宿泊させる母子ショートステイ事業 ③乳児と母親が日帰りで育児手技等の助言を受け育児不安を解消する母子デイサービス事業
年度別実績	①乳児一時預かり事業:44件②母子ショートステイ事業14件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	3,752	0	0	0	0
	直接経費 A	3,752	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	2,302	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	136	0	0	0	0	
一般財源	1,314	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	【KPI】乳児一時預かり件数	件	目標	60
			実績	44	0	0	0	0
(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
2	【KPI】母子ショートステイ利用組数	組	目標	6	6	6	6	0
			実績	14	0	0	0	0
(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
3	【KPI】産後デイサービスの開設	カ所	目標	0	0	0	1	0
			実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】家庭支援係 0857-20-0122</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106 (健049)</p> <p>【事業の概要】 妊娠期から養育者の不安や悩みなどの相談に応じ、関係機関と連携を図りながら支援を行っているが、家族等の支援が十分に得られないため産後の休養ができなかったり、メンタル不調や強い育児不安を抱えた状態で育児が十分に行えないなど、産後の母の休養や母体ケア・乳児ケア等の支援が必要となっていた。 妊産婦等の支援ニーズに応じ、次の事業による妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を包括的にを行い、安心して妊娠・出産・育児が行える環境を整え、子育てを支援する。</p> <p>【事業の成果】 (1) 利用者支援事業(母子保健型)：望まない妊娠であったり、母のメンタル不調や育児不安が強い、経済的に困窮しているなど、特に支援が必要な妊産婦に対して支援のコーディネートを実施。 (2) 産前・産後サポート事業：妊産婦の悩みや子どもの発達・養育等の相談に応じるとともに、生後4か月までの乳児の一時預かりを実施。 (3) 産後ケア事業：家族等から十分な援助が受けられず、かつ、体調不良や育児不安等がある産婦と生後3か月までの乳児に最長7日間の母子宿泊ケアを提供。 27年度 乳児一時預かり58件、母子ショートステイ3組 28年度 乳児一時預かり44件、母子ショートステイ14組</p> <p>【今後の課題・方向性】 産前・産後の不安定となりやすいストレスフルな時期に、相談支援やサービスを提供し、安心した出産・育児が行われるよう支援していく必要がある。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】乳児一時預かり件数	73%				
	2	【KPI】母子ショートステイ利用組数	233%	233%			
	3	【KPI】産後デイサービスの開設					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	当事業の支援が必要な母子に対して計画どおり支援を実施した。
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	実績値は目標値を下回ったが、申し込みがあった者は全て受け入れたため目標達成の範囲内と考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>出産後、家族等から十分に援助が得られない方にとって、育児は不安が大きく負担が増大することが懸念される。そこで本事業は産後うつ予防等重要な役割があると考え、平成29年度から日帰りの母子デイサービス事業も拡充し、産婦の育児不安の解消や心身の安定を図ることにより一層取り組んでいく。</small>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	高等技術訓練促進費等事業実施要項
1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	その他	
	0%	90%	運営方法	直営	
	0%	88%	会計区分	一般会計	
	0人	0人	予算事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	
予算	予算事業名	ひとり親家庭自立支援給付金事業費	予算事業コード	01-03-02-02-08-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	ひとり親家庭の母・父、その子
意図 (どのような状態にするために)	就職に有利な資格取得により生活の安定につなげる。
手段 (どうするのか)	就職に有利な資格取得のため、その間の生活費や受講料の一部を支給する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①自立支援教育訓練給付金 ②高等職業訓練促進費	①自立支援教育訓練給付金 ②高等職業訓練促進費 ③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	①自立支援教育訓練給付金 ②高等職業訓練促進費 ③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	①自立支援教育訓練給付金 ②高等職業訓練促進費 ③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	①自立支援教育訓練給付金 ②高等職業訓練促進費 ③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	
	年度別実績	①自立支援教育訓練給付金 0人(申請なし) ②高等職業訓練促進費 20人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	19,106	0	0	0	0	
	直接経費 A	19,106	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	14,329	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,777	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	高等職業訓練対象者数	人	目標	20	20	20	20	20
				実績	20	0	0	0	0
	(指標の説明) 高等職業訓練対象者数								
2	支援終了者数	人	目標	2	2	2	2	2	
			実績	2	0	0	0	0	
(指標の説明) 入学支援終了者数									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】育成係 0857-20-3465</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P90(健009)</p> <p>【事業の概要】 母子・父子家庭において就職に有利な資格を取得するには期間がかかりその間の生活費の不安から資格取得に動けない現状がある。 就職に有利で、かつ生活の安定につながる看護師、介護福祉士等国家資格取得養成機関在籍中、給付金を支給することにより、経済的な負担の軽減により資格取得に打ち込めることが可能となる。</p> <p>【事業の概要】就職に有利で、かつ生活の安定につながる看護師、歯科衛生士等国家資格取得養成機関在籍中、給付金を支給することにより、経済的な負担の軽減により資格取得に打ち込めることが可能となる。</p> <p>【事業の成果】 高等職業訓練促進費：看護師、介護福祉士等の国家資格取得のために養成機関に2年以上在籍する場合に給付金を支給。 25年度10名 26年度8名 27年度15名</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業の継続的な取り組みを行なう。 また、国庫補助事業(国3/4、市1/4)では支給対象期間が修業期間の上限3年だが、鳥取県高等職業訓練継続給付金事業(県1/2、市1/2)を活用し、4年目以降の修業者にも3年目までと同様の給付金を支給する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	高等職業訓練対象者数	100%				
	2	支援終了者数	100%	100%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でのどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

経済的自立に向けて、就職に有利な資格取得等について今後も継続的な支援を行う。また平成29年度から高等学校卒業程度認定試験合格支援事業を追加する。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004300	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	児童扶養手当事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	児童扶養手当法
施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法
	待機児童の数		0人	0人	会計区分
予算	予算事業名	児童扶養手当費	予算事業コード	01-03-02-01-03-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	18歳未満の子を養育する父、母又は養育者
意図 (どのような状態 にするために)	父親または母親のいないひとり親家庭に手当を支給することで、その自立を扶助し、児童福祉の増進を図る。
手段 (どうするか)	児童扶養手当の支給 全部支給 月額42,000円、一部支給 月額9,910円～41,990円 子2人目は5,000円加算、3人目以降3,000円加算

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①手当支給	平成29年度 ①手当支給	平成30年度 ①手当支給	平成31年度 ①手当支給	平成32年度 ①手当支給	
	年度別実績	①手当支給 1,869人					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	864,200	0	0	0	0	
	直接経費 A	864,200	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	287,329	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	851	0	0	0	0
一般財源	576,020	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	母子家庭	人	目標	1700	1700	1700	1700	1700
				実績	1709	0	0	0	0
		(指標の説明) 母子家庭の受給者							
	2	父子家庭	人	目標	150	150	150	150	150
				実績	150	0	0	0	0
		(指標の説明) 父子家庭の受給者							
	3	養育者	人	目標	10	10	10	10	10
				実績	10	0	0	0	0
		(指標の説明) 養育者の受給者							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 育成係 0857-20-3465</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次：当初予算・P88（健006） 12月補正・P14（健003）</p> <p>【事業の概要】        離婚の増加によりひとり親家庭は増加している。平成22年度より父子家庭、平成24年度より配偶者からの暴力（DV）被害者も対象となった。また、平成28年度より多子加算が増額された。        父親又は母親のいないひとり親家庭に手当を支給することで、その自立を扶助し、児童福祉の増進を図る。</p> <p>【事業の成果】        18歳未満の子を養育する父、母又は養育者に対して手当を支給するもの。        全部支給 月額42,330円、一部支給 月額9,990円～42,320円        子二人目は10,000円～5,000円加算、三人目以降6,000円～3,000円加算        ※所得制限あり</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">受給者数</td> <td style="text-align: center;">支給額</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td style="text-align: center;">1,969人</td> <td style="text-align: center;">880,699千円</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td style="text-align: center;">1,934人</td> <td style="text-align: center;">871,201千円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td style="text-align: center;">1,936人</td> <td style="text-align: center;">854,051千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】        国の基準に準じて今後も継続して事業を実施する。</p>		受給者数	支給額	25年度	1,969人	880,699千円	26年度	1,934人	871,201千円	27年度	1,936人	854,051千円
	受給者数	支給額											
25年度	1,969人	880,699千円											
26年度	1,934人	871,201千円											
27年度	1,936人	854,051千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	母子家庭	101%				
	2	父子家庭	100%	100%			
	3	養育者	100%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

国の基準に準じて今後も継続して事業を実施する。



# 事務事業評価シート

事務事業コード	004400	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保育園特別保育事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	鳥取市延長保育実施要綱、鳥取市休日保育事業実施要綱、鳥取市一時預かり事業実施要綱	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%		ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市立保育園特別保育事業費		予算事業コード	01-03-02-03-01-03	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市立保育園入所児童
意図 (どのような状態にするために)	勤務時間の多様化により、延長保育など利用者の要望に応えた保育業務を実施し、福祉の充実、子育てしやすいまちづくりを実現する。
手段 (どうするか)	延長保育、一時預りなど保護者の要望に応えた保育業務を実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①延長保育(市立分)5,000人 ②一時預かり(市立分)1,000人	①延長保育(市立分)5,000人 ②一時預かり(市立分)1,000人	①延長保育(市立分)5,000人 ②一時預かり(市立分)1,000人	①延長保育(市立分)5,000人 ②一時預かり(市立分)1,000人	①延長保育 ②一時預かり	
	年度別実績	①延長保育(市立分)4,722人 ②一時預かり(市立分)1,014人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	58,249	0	0	0	0	
	直接経費 A	58,249	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	10,246	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	12,569	0	0	0	0
一般財源	35,434	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】休日保育利用人数	人	目標	400	400	450	450	0	
				実績	722	0	0	0	0	
	(指標の説明) 休日保育を利用する述べ人数を示すもの。									
	2	【KPI】延長保育利用人数	人	目標	24000	24000	24000	24000	0	
				実績	24048	0	0	0	0	
	(指標の説明) 延長保育を利用する延べ人数を示すもの。基準値は平成26年度実績。									
3	【KPI】一時預かり利用人数	人	目標	4000	4000	4000	4000	0		
			実績	4743	0	0	0	0		
(指標の説明) 一時保育を利用する延べ人数を示すもの。基準値は平成26年度実績。										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】保育係 0857-20-3464</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】予算事業別概要：当初予算・P91(健011)</p> <p>【事業の概要】 勤務時間の多様化により、保育時間の延長、休日の保育園利用の要望がある。利用者の要望に応えた保育業務を実施することで、仕事と子育てとの両立を支援し、安心して子育てができる環境の充実を図る。</p> <p>【事業の成果】 1. 延長保育：通常18時までの預かり時間を最長19時半まで延長するもの。 実施保育園17園(旧市8、国府2、福部1、河原1、用瀬1、気高2、鹿野1、青谷1) 2. 一時預かり：保護者の都合等で非入園児童の預かりを一日単位で行なうもの。 実施保育園5園(河原1、用瀬1、気高1、鹿野1、青谷1、旧市は私立のみ4園が実施) 休日保育：日曜、祝日の保育要望に応えるもの。平成27年度までは市立保育園1園(千代保育園)で実施していたが、平成28年度からは民間保育園1園に変更し実施している。</p> <p>【今後の課題・方向性】 仕事と子育ての両立が図られるよう引き続き実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】休日保育利用人数	181%				
	2	【KPI】延長保育利用人数	100%	100%			
	3	【KPI】一時預かり利用人数	119%				

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

仕事と子育ての両立が図られるよう引き続き実施していく。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004500	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	病児・病後児保育事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	病児・病後児保育事業実施要綱	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	外部委託
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	病児・病後児保育事業費		予算事業コード	01-03-02-03-18-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	病気治療中、回復期の児童をもつ家庭。
意図 (どのような状態 にするために)	保護者の勤務等により家庭で保育ができない病気児童、病後回復児童を預かることにより、仕事と育児の両立支援を図る。
手段 (どうするか)	保育所等に通所する児童で、治療中、病気回復期で集団での保育が困難な場合に、一時的に別に設ける専用施設で保育する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①病児・病後児保育実施	①病児・病後児保育実施	①病児・病後児保育実施	①病児・病後児保育実施	①病児・病後児保育実施	
	年度別実績	①病児・病後児保育実施 ○病児保育 2施設 ○病後児保育 3施設 ○非施設型病児・病後児保育 1カ所 年間延べ利用人数 2,421人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	50,897	0	0	0	0	
	直接経費 A	50,897	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	31,222	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	509	0	0	0	0
一般財源	19,166	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】病児・病後児保育利用人数	人	目標	1900	2300	2700	3100	0
				実績	2421	0	0	0	0
	(指標の説明) 病児・病後児保育を利用する延べ人数を示すもの。基準値は平成26年度実績。								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P93 (健016)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①病児保育事業 (せいきょうこどもクリニック、病児保育室とくよし)        児童が病気の回復期に至らない場合で、当面の症状の急変が認められない場合において、通常保育とは別の専用施設で預かることにより、児童の健全育成と親の子育てと仕事との両立支援を図る。せいきょう病院で実施。</p> <p>②病後児保育事業 (市立病院、保育園2園)        病気回復期で集団保育が出来ない児童を通常保育とは別の専用施設で預かることにより、児童の健全育成と親の子育てと仕事との両立支援を図る。</p> <p>③非施設型病児・病後児保育事業 (NPO法人ITサポート研究所)        病気回復期で集団保育が出来ない児童を施設で預かるのではなく、子どもの家に保育者が伺い病児・病後児保育を行い、親の子育てと仕事との両立支援を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>25年度：1,704人        26年度：1,561人        27年度：1,839人</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】病児・病後児保育利用人数	127%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保育園耐震改修等事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 実施の 目標	目標の種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)	0%	90%	運営方法	直営
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)	0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数	0人	0人		
予算	予算事業名	保育園耐震改修等事業費		予算事業コード	01-03-02-03-05-14

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	耐震性の低い保育園
意図 (どのような状態 にするために)	安全で安心な保育環境の整備
手段 (どうするか)	耐震改修事業の実施

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①保育園耐震整備	保育園耐震整備 ①美保保育園の建築工 事(2年目) ②他の園の耐震整備に 係る協議	①前年度の整備協議に より実施(予定) ②他の園の耐震整備に 係る協議	①保育園の耐震整備( 予定)		
	年度別実績	①保育園耐震整備 美保保育園の用地取 得、建築工事(1年目)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	289,278	0	0	0	0	
	直接経費 A	289,278	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	259,900	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	29,378	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	耐震整備園数	園	目標	0	1	0	1	0	
				実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明) 耐震整備を行った保育園の数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問い合わせ先】管理企画係 0857-20-3461</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P93(健015)9月補正・P8(健004)</p> <p>【事業の概要】 耐震診断の結果、耐震性の低い保育園の早期改築を行うことで、安心・安全な保育環境を整備し、併せて施設収容力の見直しを行い待機児童対策を行う。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 白兔保育園及び美和保育園(1期)の改築工事 賀露保育園及び富桑保育園の基本及び実施設計並びに地質調査の実施。 賀露保育園用地造成の実施 平成26年度 賀露保育園及び富桑保育園の改築工事。 美保保育園の基本及び実施設計など 平成27年度 賀露保育園、富桑保育園旧園舎の解体及び外構工事。</p> <p>【今後の課題・方向性】 耐震性の低い園の耐震改修を計画的に進めていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	耐震整備園数					
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	年次計画的に改修をすすめる。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	平成29年度中に1園改修完了予定。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 安全安心な保育環境を確保するため、耐震改修の必要な園の改修等の整備を進める。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004700	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	小児特別医療費助成事業		所属名	福祉部 保険年金課

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	昭和48年度 ~ 全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 目標の	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	小児特別医療助成費		予算事業コード	01-03-02-01-50-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子育て中の世帯
意図 (どのような状態 にするために)	医療費にかかる経済的負担を軽減するため
手段 (どうするのか)	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある者の医療費を助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	①18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	①18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	①18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	①18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行う	
	年度別実績	①18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童に対する医療費の助成を行った助成件数:242,863件					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	650,336	0	0	0	0	
	直接経費 A	650,336	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	323,114	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	4,464	0	0	0	0
一般財源	322,758	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】対象者の年齢(上限)	歳	目標	18	18	18	18	18	
				実績	18	0	0	0	0	
	(指標の説明) 小児特別医療助成費の支給対象年齢。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 医療助成係 0857-20-3486</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P81（福047）</p> <p>【事業の概要】 18歳までの児童に対し、医療費の助成を行う。 ○対象者 満18歳に達する日以降の最初の3月31日までの児童 ○患者負担額 通院 530円/日（同一医療機関で一月5日目以降は無料） 入院 1,200円/日（※1） ※1 市民税非課税世帯で「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付を受けている者については、一月当たりの負担上限は15日、18,000円まで</p> <p>【事業の成果】 平成28年度から対象年齢の上限を15歳から18歳に引き上げ、医療費の一部を助成することにより、子育て世帯の経済的負担と育児への不安解消を図った。 (扶助費) 平成26年度 218,775件 554,785,072円 平成27年度 214,961件 546,575,634円 平成28年度 242,863件 621,129,787円</p> <p>【今後の課題・方向性】 ジェネリック医薬品利用促進などにより、医療費適正化に対する関心を高めながら、子育て家庭の経済的負担の軽減を図っていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】対象者の年齢(上限)	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点での進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了した
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	年度目標どおり事業を実施した

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>医療機関窓口で支払う負担が少額になることによって医療費への意識が薄くなりがちなことから、適正受診に対する啓発(ジェネリック医薬品利用促進等)と併せて事業を進めていく必要がある。</small>	



# 事務事業評価シート

事務事業コード	004800	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	母子保健訪問指導事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、根拠計画等		
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	外部委託
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	母子保健訪問指導事業費		予算事業コード	01-04-01-03-02-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	産婦及び新生児の家庭
意図 (どのような状態にするために)	産婦及び新生児の健康の保持増進を図り、安心して子育てができるようにする。
手段 (どうするか)	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談に応じ、適切な保健指導を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	①母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	①母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	①母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	①母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導	
	年度別実績	①母子保健推進員及び保健師による未熟児・新生児訪問指導を実施					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,633	0	0	0	0	
	直接経費 A	4,633	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,088	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,545	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	【KPI】妊産婦の訪問割合	割	目標	9.8	9.8	9.8	2	0	
				実績	9.6	0	0	0	0	
	(指標の説明) 全妊産婦に対し、訪問・保健指導を行った割合。基準値は平成26年度実績。									
	2	新生児訪問率	%	目標	98	98	98	98	98	
				実績	96	0	0	0	0	
	(指標の説明) 出生数に対し母子保健推進員及び保健師が訪問した割合									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P98（健025）</p> <p>【事業の概要】 子どもの健やかな成長と子育てを支援するために、母子保健法に基づく新生児訪問指導と併せて児童福祉法に基づく「こんにちは赤ちゃん事業」として、実施。生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育てに関する不安や相談等に応じたり、情報提供を行う。 平成25年度より未熟児訪問指導が鳥取県から移譲となり、未熟児への全数訪問も実施している。</p> <p>【事業の成果】 保健師及び委託した母子保健推進員が産婦及び新生児の家庭を訪問し、保健指導を行うことにより、子育てに関する不安を軽減し、その後の適切な育児へとつなげることができた。また、これまで県が行ってきた未熟児の訪問指導を市が実施することで、身近な支援者により継続的なかわりを持つことができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">産婦人数</th> <th style="text-align: center;">新生児人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: right;">5,492千円</td> <td style="text-align: right;">1,580人</td> <td style="text-align: right;">1,586人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">5,475千円</td> <td style="text-align: right;">1,611人</td> <td style="text-align: right;">1,622人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">4,633千円</td> <td style="text-align: right;">1,509人</td> <td style="text-align: right;">1,529人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 事業の周知に努めるとともに、全数訪問を目指して継続実施する。</p>		決算額	産婦人数	新生児人数	平成26年度	5,492千円	1,580人	1,586人	平成27年度	5,475千円	1,611人	1,622人	平成28年度	4,633千円	1,509人	1,529人
		決算額	産婦人数	新生児人数													
平成26年度	5,492千円	1,580人	1,586人														
平成27年度	5,475千円	1,611人	1,622人														
平成28年度	4,633千円	1,509人	1,529人														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】妊産婦の訪問割合	98%				
	2	新生児訪問率	98%	98%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p style="text-align: center;">年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p style="text-align: center;">事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>新生児期や乳幼児期の子どもを持つ家庭へのサポートを効率的かつ確実に実施するために今後も事業を継続する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	004900	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	妊婦健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 実施の 目標	目標の種類	平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)	0%	90%	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)	0%	88%	運営方法
	待機児童の数	0人	0人	外部委託
予算	予算事業名	妊婦健康診査費	会計区分	一般会計
	予算事業コード	01-04-01-03-03-01		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦
意図 (どのような状態 にするために)	母体や胎児の健康確保を図り、安心して出産を迎えられるようにする。
手段 (どうするのか)	妊婦健康診査受診票を1人あたり14枚交付し、妊婦健康診査費の助成をすることで、妊婦健康診査を受けやすくする。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	年度別計画	①妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 ※多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	①妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 ※多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	①妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 ※多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	①妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 ※多胎妊娠妊婦には5枚追加交付	①妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を配布 ・1人あたり14枚 ※多胎妊娠妊婦には5枚追加交付
年度別実績	①受診表の配布 配布者数:					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	129,274	0	0	0	0
	直接経費 A	129,274	0	0	0	0
	国・県	47	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	129,227	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度					
				1	妊婦健康診査受診数	件	目標 20000	実績 19859	目標 20000	実績 0	目標 19500	実績 0	目標 19500
2	(指標の説明) 妊婦健康診査受診数			目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0
	(指標の説明)			目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0
3	(指標の説明)			目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0
	(指標の説明)			目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0	目標 0	実績 0

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算P98（健026）</p> <p>【事業の概要】 母子手帳交付時にあわせて妊婦一般健康診査受診票を交付する。 交付枚数は、妊娠全期を通して14枚。ただし、多胎妊婦には左記に加えて5枚分を追加で交付する。</p> <p>【事業の成果】 妊娠中の異常の早期発見や疾病予防のために、定期的な妊婦健康診査を受けることが必要である。妊婦健康診査費の一部を助成することで経済的負担の軽減を図り、妊婦健診を受けやすくし、安心して出産をむかえられるよう支援した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>一般</th> <th>多胎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>142,018千円</td> <td>延21,765人</td> <td>延22人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>140,204千円</td> <td>延21,580人</td> <td>延14人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>129,274千円</td> <td>延19,859人</td> <td>延19人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 妊婦健康診査の重要性について周知しながら継続実施する。</p>		決算額	一般	多胎	平成26年度	142,018千円	延21,765人	延22人	平成27年度	140,204千円	延21,580人	延14人	平成28年度	129,274千円	延19,859人	延19人
		決算額	一般	多胎													
平成26年度	142,018千円	延21,765人	延22人														
平成27年度	140,204千円	延21,580人	延14人														
平成28年度	129,274千円	延19,859人	延19人														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	妊婦健康診査受診数	99%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>ほぼ目標の受診者数となったが、今後妊婦の人数の見込みを考慮して目標設定について検討する必要がある。</p>
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>ほぼ目標の受診者数となったが、今後妊婦の人数の見込みを考慮して目標設定について検討する必要がある。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>妊婦と胎児の健康を確保するために、妊婦が安心して健診（歯科健診を含む）を受けられる体制を継続実施していく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005000	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	乳児健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	母子保健法
1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 実施の 目標	目標の種類	平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)	0%	90%	ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)	0%	88%	運営方法
	待機児童の数	0人	0人	外部委託
予算	予算事業名	乳児健康診査費	会計区分	一般会計
	予算事業コード	01-04-01-03-05-01		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	生後3か月から4か月児、生後9か月から10か月児
意図 (どのような状態 にするために)	乳児期の疾病の早期発見及び健康の保持増進
手段 (どうするか)	乳児健康診査受診票を2枚交付し、乳児健康診査費の助成をすることで、乳児健康診査を受けやすくする。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) ②乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	①乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) ②乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	①乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) ②乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	①乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) ②乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	①乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) ②乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)	①乳児健康診査受診票を交付(3~4か月健診分) ②乳児健康診査受診票を交付(9~10か月健診分)
事業費	年度別実績	①交付者数 1,579人(うち受診者1,547人) ②交付者数 1,658人(うち受診者1,453人)					
		①交付者数 1,579人(うち受診者1,547人) ②交付者数 1,658人(うち受診者1,453人)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	17,699	0	0	0	0	
	直接経費 A	17,699	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	17,699	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	3~4か月児乳児健康診査受診率	%	目標	95
			実績	98	0	0	0	0
	(指標の説明) 3~4か月児の乳児が健康診査を受診した割合							
2	9~10か月児乳児健康診査受診率	%	目標	90	90	90	90	90
			実績	87.6	0	0	0	0
	(指標の説明) 9~10か月児の乳児が健康診査を受診した割合							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算P99（健027）</p> <p>【事業の概要】          母子保健法に基づく健康診査として3～4か月健診・9～10か月健診の受診券を発行し、医療機関委託で実施する。</p> <p>【事業の成果】          成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行い、乳児の健康の保持増進を図ることが出来た。</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">決算額</td> <td style="text-align: center;">受診者数</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">17,829千円</td> <td style="text-align: center;">3,026人</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">18,012千円</td> <td style="text-align: center;">3,052人</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">17,699千円</td> <td style="text-align: center;">3,000人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】          乳児健康診査の効果的な推進について継続実施する。</p>		決算額	受診者数	平成26年度	17,829千円	3,026人	平成27年度	18,012千円	3,052人	平成28年度	17,699千円	3,000人
		決算額	受診者数										
平成26年度	17,829千円	3,026人											
平成27年度	18,012千円	3,052人											
平成28年度	17,699千円	3,000人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	3～4か月児乳児健康診査受診率	103%				
	2	9～10か月児乳児健康診査受診率	97%	97%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	9～10か月健診は目標とする受診率に到達することができなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント  <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p> <p><small>母子保健法に基づく健康診査で、鳥取県下統一した方法で実施している。安心して健診を受けられる体制を整備し、乳児の健康を確保するためにも継続実施していく。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	6か月児健康診査事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	母子保健法	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 数	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	6か月児健康診査費		予算事業コード	01-04-01-03-06-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	6か月児
意図 (どのような状態 にするために)	乳児期の疾病の早期発見及び健康の保持増進。 ブックスタート事業実施の場
手段 (どうするのか)	6か月児健康診査を実施する。(集団健診)

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①身体計測・小児科医の診察 ②栄養指導・保健指導 ③絵本の読み聞かせ ④ブックスタートパックの配布	①身体計測・小児科医の診察 ②栄養指導・保健指導 ③絵本の読み聞かせ ④ブックスタートパックの配布	①身体計測・小児科医の診察 ②栄養指導・保健指導 ③絵本の読み聞かせ ④ブックスタートパックの配布	①身体計測・小児科医の診察 ②栄養指導・保健指導 ③絵本の読み聞かせ ④ブックスタートパックの配布	①身体計測・小児科医の診察 ②栄養指導・保健指導 ③絵本の読み聞かせ ④ブックスタートパックの配布	
	年度別実績	①受診者数(1564人) ②受診率(98.9%) ③絵本の読み聞かせ実施数(1564人) ④ブックスタートパックの配布数(1576人)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	3,092	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,092	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,092	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	6か月健診受診率	%	目標	98	98	98	98	98	
				実績	98.9	0	0	0	0	
	(指標の説明) 6か月健診対象者のうち、受診者の割合									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P99（健028）</p> <p>【事業の概要】 乳児期の健康保持増進を図るためには、定期的に健康診査を受け健康状態を明らかにする必要があり。母子保健法に基づく健康診査。 6か月児に健康診査を行い、成長発達の確認や疾病の早期発見をし、適切な指導を行うことで、6か月児の心身の健やかな成長を図る。</p> <p>【事業の成果】 栄養指導（栄養士）・保健指導（保健師） 絵本の読み聞かせ、ブックスタートパックの配布</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>決算額</th> <th>受診者数（受診率）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td>2,957千円</td> <td>1,609人（98.8%）</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>3,048千円</td> <td>1,613人（98.8%）</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>3,093千円</td> <td>1,564人（98.9%）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており今後も継続して実施する。</p>		決算額	受診者数（受診率）	平成26年度	2,957千円	1,609人（98.8%）	平成27年度	3,048千円	1,613人（98.8%）	平成28年度	3,093千円	1,564人（98.9%）
		決算額	受診者数（受診率）										
平成26年度	2,957千円	1,609人（98.8%）											
平成27年度	3,048千円	1,613人（98.8%）											
平成28年度	3,093千円	1,564人（98.9%）											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	6か月検診受診率	101%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>目標とする受診率に到達することができた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>子どもの成長、発達を確認するとともに、子育て支援としても重要な役割を担っており、今後も継続して実施する。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	005200	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	育児等健康支援事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	0%	90%	運営方法	直営
	0%	88%	会計区分	一般会計
	0人	0人	予算事業コード	01-04-01-03-09-01
予算	予算事業名	育児等健康支援事業費		

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦及び乳幼児及びその保護者、学童期、思春期の児童、生徒
意図 (どのような状態 にするために)	母子の愛着形成を促進し、子どもの健やかな成長・発達を促したり、育児不安の解消を図る。児童・生徒の健全な発育、発達を促す。
手段 (どうするのか)	保健センターや各地区公民館等に出向き、子育てに関する教育・相談を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		①幼児学級 ②地区健康教育 ③育児サロンなど	①幼児学級 ②地区健康教育 ③育児サロンなど	①幼児学級 ②地区健康教育 ③育児サロンなど	①幼児学級 ②地区健康教育 ③育児サロンなど	①幼児学級 ②地区健康教育 ③育児サロンなど	①幼児学級 ②地区健康教育 ③育児サロンなど
年度別実績	①幼児学級 (23回 延415人) ②地区健康教育 (147回 3239人) ③育児サロン、セミナー (17回 745人)						
	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業費	事業費(A+B)	1,199	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,199	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,199	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
				1	ふれあい学級参加延べ人数	人	目標	250
			実績	207	0	0	0	0
	(指標の説明) 乳幼児健診後経過観察となった幼児の発達支援の教室に参加した人数							
2	5歳児発達相談相談数(平成25年度より478の発達相談事業費へ移行)	人	目標	70	70	70	70	70
			実績	68	0	0	0	0
	(指標の説明) 5歳児発達相談の相談者数							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次：当初予算P101 (健031)</p> <p>【事業の概要】          母子の健康づくりや栄養管理、育児等について、グループワーク等の方法を用いて教室を実施することで、母子の愛着形成を促進し子どもの健やかな発達を促す。また、発達が気かりな子どもやその保護者、育児不安を持つ母親等に対し、相談の場や親子のふれあいの場を設けて子どもの健全な発達を促し、育児不安の軽減を図る。</p> <p>【事業の成果】          各地区で活動している子育てサークルや支援センターからの要望に応じ、子育ての正しい知識の普及や育児の悩みのグループワーク等を実施することで、育児不安の解消や母子の孤立の防止につながった。また、母子の愛着形成を促進し、子どもの健やかな成長・発達を促すことができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">幼児学級〔延〕</th> <th style="text-align: center;">地区健康教育〔延〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: right;">1, 237千円</td> <td style="text-align: right;">23回 (196組)</td> <td style="text-align: right;">151回 (4, 449人)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">1, 129千円</td> <td style="text-align: right;">23回 (192組)</td> <td style="text-align: right;">165回 (3, 933人)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">1, 200千円</td> <td style="text-align: right;">23回 (207組)</td> <td style="text-align: right;">164回 (3, 984人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】          保護者の育児不安を軽減し、子どもの健やかな成長・発達を支援するため、ライフステージとその課題に応じた教育と相談を継続実施する。</p>		決算額	幼児学級〔延〕	地区健康教育〔延〕	平成26年度	1, 237千円	23回 (196組)	151回 (4, 449人)	平成27年度	1, 129千円	23回 (192組)	165回 (3, 933人)	平成28年度	1, 200千円	23回 (207組)	164回 (3, 984人)
		決算額	幼児学級〔延〕	地区健康教育〔延〕													
平成26年度	1, 237千円	23回 (196組)	151回 (4, 449人)														
平成27年度	1, 129千円	23回 (192組)	165回 (3, 933人)														
平成28年度	1, 200千円	23回 (207組)	164回 (3, 984人)														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	ふれあい学級参加延べ人数	83%				
	2	5歳児発達相談相談数(平成25年度より478の発達相談事業費へ移行)	97%	97%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p style="text-align: center;">年度計画の進捗度</p> <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	<p>計画通りに完了した。母子の健康づくりや育児等についての健康教育や相談を実施。発達の心配な子どもやその保護者・育児不安を持つ母親に対して相談の場や親子のふれあいの場を設け、子どもの健全な発達を促し、育児不安の解消を図ることができた。</p>
<p style="text-align: center;">事業の成果</p> <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>概ね目標を達成した。乳幼児から児童・生徒、その保護者へ正しい知識の普及と啓発を行い、健やかな成長発達の促進につながり、育児不安を解消することで、母子の愛着形成や育児の孤立を防ぐことにつながっている。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント  <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p>	<small>育児不安を軽減し、子どもの健やかな発育・発達を支援するために今後もライフステージとその課題に応じた教育と相談を継続実施する。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005300	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	特定不妊治療助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成21年度 ~ 全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	0%	90%	運営方法	補助金交付
	0%	88%	会計区分	一般会計
	0人	0人	予算事業コード	01-04-01-03-29-01
予算	予算事業名	特定不妊治療助成事業費補助金		01-04-01-03-29-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	特定不妊治療を受けた夫婦
意図 (どのような状態 にするために)	子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができるようにする。
手段 (どうするのか)	特定不妊治療費の一部を助成する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	年度別実績	①特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(制度改正により、国は妻の治療開始年齢により助成制限を設ける)	①特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。(H29年度より、治療開始日の妻の年齢が43歳以上は助成対象外)	①特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。	①特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。	①特定不妊治療に要した費用のうち鳥取県の助成金を差し引いた額を1回5万円を限度に助成する。
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	13,686	0	0	0	0
	直接経費 A	13,686	0	0	0	0
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	13,686	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]特定不妊治療費助成実人員	人	目標	180	180	180	0	0	
			実績	179	0	0	0	0		
	(指標の説明) 特定不妊治療の対象となった市民が助成を受けた人数									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		特定不妊治療費助成延べ件数	件	目標	350	350	350	350	350	
		実績	384	0	0	0	0			
(指標の説明) 特定不妊治療の対象となった市民が助成を受けた件数										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P102 (健034)</p> <p>【事業の概要】 経済的負担が原因で子どもを諦める夫婦がないように治療費を助成することで子どもを望む夫婦が安心して子どもを産み育てる環境づくりを行うために、鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった人に対して治療費の追加助成を行う。 平成28年度より助成対象・範囲が変わり、通算助成期間、年間助成回数の制限がなくなった。 平成29年度より、妻の治療開始年齢が43歳以上の方は助成対象外となる。 鳥取県特定不妊治療助成事業の対象となった費用から鳥取県の助成金を控除した額又は5万円(以前に凍結した胚を解凍して胚移植を実施した治療については2万5千円)のいずれか低い額を助成。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">決算額</th> <th style="text-align: center;">助成人数(件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: right;">13,999千円</td> <td style="text-align: right;">実176名(延385件)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: right;">13,620千円</td> <td style="text-align: right;">実165名(延362件)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">13,686千円</td> <td style="text-align: right;">実179名(延384件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。</p>		決算額	助成人数(件数)	平成26年度	13,999千円	実176名(延385件)	平成27年度	13,620千円	実165名(延362件)	平成28年度	13,686千円	実179名(延384件)
		決算額	助成人数(件数)										
平成26年度	13,999千円	実176名(延385件)											
平成27年度	13,620千円	実165名(延362件)											
平成28年度	13,686千円	実179名(延384件)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】特定不妊治療費助成実人員	99%				
	2	特定不妊治療費助成延べ件数	110%	110%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>本助成制度は治療を希望され申請があった方に対し行うものであり、希望者には全て助成を実施した。不妊治療に対する経済的支援は、子どもを望む夫婦への有効な支援策であると考えます。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p><small>少子化対策の一環として、市民が安心して子どもを産める環境づくりは継続的に必要である。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005400	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	一般不妊治療助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策 施策	02 1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり 結婚・出産・子育て支援	根拠法令、 根拠計画等	
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法
	待機児童の数		0人	0人	会計区分
予算	予算事業名	一般不妊治療助成事業費		予算事業コード	01-04-01-03-30-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	県の一般不妊治療助成事業の交付決定を受け、かつ申請時に市内に1年以上居住している人
意図 (どのような状態 にするために)	一般不妊治療に係る経済的な負担を軽減するため
手段 (どうするのか)	治療費の2割を通算2年度助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①一般不妊治療費助成	①一般不妊治療費助成	①一般不妊治療費助成	①一般不妊治療費助成	①一般不妊治療費助成	
	年度別実績	①一般不妊治療費助成 (延68件)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	676	0	0	0	0	
	直接経費 A	676	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	676	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】一般不妊治療助成実人員	人	目標	50	50	50	0	0
				実績	68	0	0	0	0
	(指標の説明) 一般不妊治療の対象となった市民が助成を受けた人数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P103 (健035)</p> <p>【事業の概要】 保険適用とならない人工授精の費用の一部を助成することにより、治療に係る経済的な負担を軽減する。 特定不妊治療費については県・市の助成事業が実施されていたが、特定不妊治療の前段である人工授精については保険適用となっていなかったため、子どもを産み育てたいが不妊に悩む夫婦の治療に係る経済的負担が大きかった。 県が平成23年7月1日より人工授精費助成事業を開始したことに伴い、上乗せ助成をす事業概要することで少子化対策の施策とするため、市は平成23年10月1日から制度を開始した。</p> <p>(1) 対象者 県から本事業の交付決定を受け、かつ申請時に市内に1年以上居住している人。</p> <p>(2) 助成額と根拠 治療費の2割を通算2年度助成。県5割・市2割の助成を合わせて実質的な自己負担を3割。</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">決算額</td> <td style="text-align: center;">助成人数 (件数)</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">603千円</td> <td style="text-align: center;">実69名 (延76件)</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td style="text-align: center;">715千円</td> <td style="text-align: center;">実67名 (延73件)</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">677千円</td> <td style="text-align: center;">実65名 (延68件)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。</p>		決算額	助成人数 (件数)	平成26年度	603千円	実69名 (延76件)	平成27年度	715千円	実67名 (延73件)	平成28年度	677千円	実65名 (延68件)
		決算額	助成人数 (件数)										
平成26年度	603千円	実69名 (延76件)											
平成27年度	715千円	実67名 (延73件)											
平成28年度	677千円	実65名 (延68件)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】一般不妊治療費助成実人員	136%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	<p>目標を上回った。不妊治療に対する経済的支援は、子どもを望む夫婦への有効な支援策であると考えている。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>市民が安心して子どもを産み育てる環境を確保するために継続実施する。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005500	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	不育治療助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成27年度 ～ 全期
	政策 施策	02 1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり 結婚・出産・子育て支援	根拠法令、 根拠計画等	鳥取市不育治療費等助成金交付要綱
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法
待機児童の数			0人	0人	会計区分
予算	予算事業名	不育治療助成事業費補助金		予算事業コード	01-04-01-03-32-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	不育症のため、子どもを持つことが困難な夫婦に
意図 (どのような状態にするために)	不育症に係る検査及び治療を受けた場合に、その検査費及び治療費の一部を助成することにより、その経済的負担の軽減を図り、
手段 (どうするのか)	子どもを望む夫婦が安心して子どもを産むことができるよう支援を行うことを目的として交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①不育治療費等助成金交付	平成29年度 ①不育治療費等助成金交付	平成30年度 ①不育治療費等助成金交付	平成31年度 ①不育治療費等助成金交付	平成32年度 ①不育治療費等助成金交付
	年度別実績	①不育治療費等助成金交付(実件数:6件)				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	47	0	0	0	0
	直接経費 A	47	0	0	0	0
	直接経費の財源内訳					
	国・県	23	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	24	0	0	0	0	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		[KPI]不育治療等費助成実人員	人	目標	5	5	5	0	0	
			実績	6	0	0	0	0		
	(指標の説明) 不育治療の対象となった市民が助成を受けた人数									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		不育治療等助成金交付件数	件	目標	10	10	10	10	10	
		実績	6	0	0	0	0			
(指標の説明)										
3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P103 (健036)</p> <p>【事業の概要】 不育症の検査・治療を受けている夫婦に対し、医療費負担の軽減を図り、少子化対策の施策とするため、市は平成27年4月1日から制度を開始した。</p> <p>(1) 対象者 婚姻していて、申請時に市内に1年以上居住している人、他の助成金を受けていない人、医療保険の被保険者又は被扶養者、夫婦の前年所得730万円未満で市税の滞納のない人。</p> <p>(2) 助成額と根拠 入院時の差額ベッド代、食事代その他不育治療等に直接関係ない費用を除く費用の2分の1の額で1年度につき10万円、通算5カ年度を限度とする。</p> <p>【事業の成果】 平成27年度 87千円 助成人数(件数) 実2名(延2件) 平成28年度 47千円 助成人数(件数) 実6名(延6件)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】不育治療等助成実人員	120%				
	2	不育治療費等助成金交付件数	60%	60%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	不育治療の助成件数が目標値を下回っているが、本助成制度は、治療を希望し申請された方に対し実施するものであり、希望者には全て助成できている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後とも子どもを産み育てる環境づくりを進めていくため、継続して実施していく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	005600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	妊婦歯科健診事業		所属名	健康こども部 中央保健センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成28年度 ~ 全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	
1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 実施の 目標	目標の種類	平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)	0%	90%	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)	0%	88%	運営方法
	待機児童の数	0人	0人	外部委託
会計区分	一般会計			予算事業コード
予算	予算事業名	妊婦歯科健診事業費		01-04-01-03-33-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	妊婦
意図 (どのような状態 にするために)	妊婦が適切に口腔管理をすることで、出生児へのむし菌の母子感染を防ぎ、母子ともに生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくため
手段 (どうするか)	妊婦の歯科健康診査費を助成することで経済的な軽減を図り、歯科健診を受けやすくし、母子の口腔衛生の向上を図られるよう支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①妊婦の歯科健康診査費を助成する	平成29年度 ①妊婦の歯科健康診査費を助成する	平成30年度 ①妊婦の歯科健康診査費を助成する	平成31年度 ①妊婦の歯科健康診査費を助成する	平成32年度 ①妊婦の歯科健康診査費を助成する	
	年度別実績	①妊婦歯科健診受診者 553人					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	1,129	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,129	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	353	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	776	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	妊婦歯科健診受診者数	単位	人	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		(指標の説明)	実績	425	425	425	425	425			
	2		目標	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0			
	3		目標	0	0	0	0	0			
		(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P104 (健037)</p> <p>【事業の概要】 妊娠をきっかけとして、妊婦が適切に口腔管理をすることは、出生児へのむし菌の母子感染を防ぎ、母子ともに生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくことにつながる。妊婦の歯科健康診査費を助成することで経済的な軽減を図り、歯科健診を受けやすくし、母子の口腔衛生の向上が図られるよう支援する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="text-align: center;">決算額</td> <td style="text-align: center;">件数</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">1,130千円</td> <td style="text-align: center;">553件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 妊婦歯科健診の必要性や、生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくことの重要性を継続して啓発する必要がある。</p>		決算額	件数	平成28年度	1,130千円	553件
		決算額	件数				
平成28年度	1,130千円	553件					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	妊婦歯科検診受診者数	130%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画を上回る人数の受診者があり今年度事業を完了した。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	年度目標値を上回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>妊婦歯科健診の必要性や、生涯を通じて健全な口腔機能を維持していくことの重要性を継続して啓発していく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005700	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	新生児聴覚検査費助成事業		所属名	健康こども部 中央保健センター	

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	その他
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人		
予算	予算事業名	新生児聴覚検査費助成事業費			予算事業コード	01-04-01-03-34-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	新生児
意図 (どのような状態 にするために)	障がいの早期発見・適切な療育により、ことばの発達が見込まれる児もいることから、両側の耳の聞こえの障がいを早期に発見するため、
手段 (どうするか)	より多くの新生児が検査を受けられるよう、新生児聴覚検査の費用を助成する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①受診券を交付	①受診券を交付	①受診券を交付	①受診券を交付	①受診券を交付	
	年度別実績	①妊婦健診受診者全員に交付  ※参考 出生数:1,399人 受診者数:1,212件 (H28.4.1~H29.2.29)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	2,523	0	0	0	0	
	直接経費 A	2,523	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,657	0	0	0	0
一般財源	866	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	受診率	%	目標	92	100	100	100	100
		実績		86.6	0	0	0	0	
	(指標の説明) 新生児のうち聴覚検査を受けた者の割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 母子保健係 0857-20-3196</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P104 (健038)</p> <p>【事業の概要】 両側の耳の聞こえに障がいをもつ新生児は、1,000に1~2人の割合でいると言われており、ことばの発達や学習に影響を及ぼす。この障がいは、ことばの発達の遅れ(1歳~1歳半頃)によって認識されることが多いが、障がいの早期発見・適切な療育により、ことばの発達が見込まれる児もある。 この障がいを早期に発見するため、新生児聴覚検査が実施されているが、より多くの新生児が検査を受けられるよう、検査費用の一部(2,000円)を助成するもの。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="text-align: center;">決算額</td> <td style="text-align: center;">件数</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: center;">2,524千円</td> <td style="text-align: center;">1,212件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 新生児が100%聴覚検査を受けることができるよう、今後も助成していくことが必要。</p>		決算額	件数	平成28年度	2,524千円	1,212件
		決算額	件数				
平成28年度	2,524千円	1,212件					

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	受診率	94%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	受診対象者のほぼ全員に受診票を交付することができた。
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	事業開始初年度であり、特に年度当初は周知が行き届かない面があり、目標とする受診率に到達しなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>障がいの早期発見、母子双方に対する適切なケアを通じて、乳児の健康の保持増進を図ることを目的に、新生児が100%聴覚検査を受けることができるよう、今後も助成していくことが必要。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005800	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て短期支援事業		所属名	健康こども部 こども発達・家庭支援センター

## 1. 基本情報

位置づけの 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成15年度 ～ 全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の 目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%		ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	外部委託
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	子育て支援短期利用事業費		予算事業コード	01-03-02-01-14-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内在住の児童、保護者
意図 (どのような状態 にするために)	保護者の疾病等で家庭における児童の養育が、一時的に困難となった場合に短期間預かることで、児童及びその家庭の生活を支援
手段 (どうするか)	・ショートステイ事業、トワイライトステイ事業を鳥取こども学園、青谷こども学園に委託して実施する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①ショートステイ利用 日数:782日 ②トワイライトステイ 利用日数:234日	①ショートステイ利用 日数:715日 ②平日日帰りステイ利 用日数:23日 ③トワイライトステイ 利用日数:215日	①ショートステイ利用 日数:750日 ②平日日帰りステイ利 用日数:30日 ③トワイライトステイ 利用日数:220日	①ショートステイ利用 日数:750日 ②平日日帰りステイ利 用日数:30日 ③トワイライトステイ 利用日数:220日	①ショートステイ利用 日数:750日 ②平日日帰りステイ利 用日数:30日 ③トワイライトステイ 利用日数:220日	
	年度別実績	①ショートステイ利用 日数:730日 ②トワイライトステイ 利用日数:229日					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,262	0	0	0	0	
	直接経費 A	5,262	0	0	0	0	
	直接経費の財 源内訳	国・県	3,050	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	710	0	0	0	0
一般財源	1,502	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	【KPI】ショートステイ延べ日数	日	目標	686	715	730	700	0
				実績	730	715	730	730	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。								
2	【KPI】トワイライトステイ延べ日数	日	目標	100	215	220	100	0	
			実績	229	215	220	220	0	
(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】家庭支援係 0857-20-0122</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106 (健042) 2月補正・</p> <p>【事業の概要】 仕事、疾病、家庭の事情等により一時的に家庭での養育が困難なとき、その間の養育を頼れる支援者のない保護者を支援するため、宿泊を伴うショートステイ事業及び平日の夜間・休日のトワイライトステイ事業による一時預かりを児童養護施設に委託し実施。</p> <p>【事業の成果】 利用件数が増加し、恒久的に必要な事業となっている。 26年度利用延べ日数(ショートステイ631日、トワイライトステイ103日) 27年度利用延べ日数(ショートステイ667日、トワイライトステイ91日) 28年度利用延べ日数(ショートステイ730日、トワイライトステイ229日)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も保護者の養育支援や児童の健全育成が図られる環境を確保するため、これまでの制度を継続して維持する。また、平日の日中に家庭における児童の保育が一時的に困難となった場合など、利用ニーズが多様化しているため、制度を拡充する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】ショートステイ延べ日数	106%	100%	100%	104%	
	2	【KPI】トワイライトステイ延べ日数	229%	229%	100%	220%	220%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	利用者が多く申込をしたが委託先の受け入れ状況によって断ったケースもあった
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	利用ニーズの高まりと再利用者が多くあったため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>保護者の養育支援や児童の健全育成が図られる環境を確保するため、今後も制度を継続して維持する。また、平日の日中に家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合など、利用ニーズが多様化しているため、制度を拡充する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	005900	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	放課後児童対策事業		所属名	教育委員会事務局 学校教育課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成3年度～全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、根拠計画等	児童福祉法、鳥取市放課後児童健全育成支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
施策	1201	結婚・出産・子育て支援				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%		ソフト(義務)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	放課後児童対策事業費		予算事業コード	01-03-02-01-10-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	小学校児童・保護者
意図 (どのような状態にするために)	昼間保護者が就労のため家にいない小学校児童を授業の終了後預かり、適切な遊び及び生活の場を与えることで児童の健全育成を図る。
手段 (どうするか)	小学校児童を学校の余裕教室や専用施設等で預かり、遊びや集団生活の場を提供する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	平成29年度 ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	平成30年度 ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	平成31年度 ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託	平成32年度 ①放課後児童クラブの設置・運営 ②保護者会等に運営委託
	年度別実績	①放課後児童クラブ設置54クラブ ②保護者会等に委託し運営				
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
	事業費(A+B)	401,043	0	0	0	0
	直接経費 A	401,043	0	0	0	0
	国・県	249,411	0	0	0	0
	地方債	31,600	0	0	0	0
	その他	3	0	0	0	0
直接経費の財源内訳	一般財源	120,029	0	0	0	0

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		[KPI]児童クラブ設置数	箇所	目標	50	53	55	57	60
	(指標の説明) 児童クラブの設置数。				実績	54	0	0	0
	2	児童クラブ利用者数	人	目標	2321	2534	2767	3023	3303
		(指標の説明) 児童クラブの入級児童数				実績	2288	0	0
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)				実績	0	0	0	0	

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 学務係 0857-20-3356</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】        予算別事業概要目次：当初予算・P220(教010)</p> <p>【事業の概要】        全ての放課後児童クラブを委託方式とし、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に、遊び及び生活の支援を行い、児童の心身共に健全な育成を図る。</p> <p>【事業の成果】        市内44校区中39校区に54クラブを開設        平成28年度は入級が増加する4クラブ、未開設校区の1クラブにおいて、学校との協議を重ね、学校内の空教室を共用利用することで計5クラブを設置。</p> <p>【今後の課題・方向性】        上級生の入級を含め、放課後児童クラブへの入級希望児童数は増加傾向にあり、既存クラブの分割等が必要となることから、開設場所の確保が急務である。        また、放課後児童クラブ支援員等の確保も課題であることから、処遇改善等の取組が必要である。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	【KPI】児童クラブ設置数	108%				
	2	児童クラブ利用者数	99%	99%			
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
事業の成果 <small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<small>高学年を含めた授業終了後の児童預かり要望は依然多く、適切な遊び及び生活の場を与える放課後児童クラブの役割は大きい。今後入級児童の増加に伴う開設場所確保は急務であり、適宜、小学校、保護者会等と分割・拡充協議を行うことで、事業を継続していく必要がある。</small>		
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>			



# 事務事業評価シート

事務事業コード	006000	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	保育所緊急整備事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等		
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	事業分類区分	建設、整備
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	保育所緊急整備事業費補助金		予算事業コード	01-03-02-03-03-16	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	認定こども園を開設する学校法人、保育園等の改築を行う民間法人
意図 (どのような状態 にするために)	保育園、認定こども園、小規模保育事業所等の開設による園児受け入れ体制を整備し、待機児童対策を推進する
手段 (どうするのか)	整備費の一部補助

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①民間法人の実施する 保育所等整備支援	①民間法人の実施する 保育所等整備支援	①民間法人の実施する 保育所等整備支援	①民間法人の実施する 保育所等整備支援	①民間法人の実施する 保育所等整備支援	
	年度別実績	①民間法人の実施する 保育所等整備支援(補 助金交付):2園					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	51,468	0	0	0	0	
	直接経費 A	51,468	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	45,750	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	5,718	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	[KPI]地域型保育園開園数	園	目標	2	4	6	6	0
				実績	2	0	0	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成26年度実績。目標値は累計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】管理企画係 0857-20-3461</p> <p>【10次総の施策体系】1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：6月補正・P11(健002) 9月補正・P7(健002)</p> <p>【事業の概要】 近年の保育需要の増大により保育ニーズの低年齢化が進むなか、保育園の収容力不足の解消や幼保連携の推進を図るため、対応施設の整備が必要となっており、民間法人が計画している小規模保育事業所設置に対する助成をおこない、待機児童対策に資する。</p> <p>【事業の成果】 H25年度 2園 H26年度 4園 H27年度 3園</p> <p>【今後の課題・方向性】 園児の受け入れ体制の整備と待機児童対策として継続実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標 達成 率	1	【KPI】地域型保育園開園数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>【事業実績】タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	今後の保育の必要量等をみながら進めていく。
<p>事業の成果</p> <p><small>【指標】タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>保育の必要量を勘案しながら、園児の受け入れ体制の整備と待機児童対策として継続実施する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	006100	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	子育て支援センター事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	全期
	政策 施策	02 1201	安心して子どもを産み育てられるまちづくり 結婚・出産・子育て支援		根拠法令、 根拠計画等	地域子育て支援センター実施要 綱
目標の種類		平成28年度	平成32年度	事業分類区分		
目標の 実施の	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	運営方法	外部委託
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	会計区分	一般会計
	待機児童の数		0人	0人	予算事業コード	01-03-02-04-03-01
予算	予算事業名	子育て支援センター運営委託費			事業区分	一般会計

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	未就学児及びその保護者
意図 (どのような状態 にするために)	地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う。
手段 (どうするのか)	私立子育て支援センター(こぼと)の運営

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①こぼと子育て支援センター開設	①こぼと子育て支援センター開設	①こぼと子育て支援センター開設	①こぼと子育て支援センター開設	①こぼと子育て支援センター開設	
	年度別実績	①こぼと子育て支援センター開設 センター利用者数:延5,164人(保護者+子ども)					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,297	0	0	0	0	
	直接経費 A	7,297	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,864	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,433	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
活動指標	1	延べ利用保護者数	人	目標	2000	2000	2000	2000	0
				実績	2271	0	0	0	0
	(指標の説明) 支援対象は保護者であるため、指標として保護者数を設定								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 子どもが保育園等に通っていない、就学前の子どもがいる家庭に対する育児支援が求められる。地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るため、未就園家庭の集い、支援の場として母子生活支援施設内に支援センターを設置し、地域の子育て家庭に対する育児支援を行うもの。</p> <p>【事業の成果】 ○育児不安等についての相談、支援の実施 ○地域の保育資源の情報提供 ○子育て親子の交流の場の提供と保護者間等の交流の促進 ○子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 こばと子育て支援センター利用人数 H25年度5,525人 H26年度5,979人 H27年度7,489人</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	延べ利用保護者数	114%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>子育て支援に必要な事業であり、継続して取り組む。</p>		



5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P95（健018）</p> <p>【事業の概要】</p> <p>私立幼稚園への就園を促進するため、保護者の経済的負担の軽減する補助制度を設けている。保護者の経済的負担を軽減することで、幼稚園入園を促され、子どもが幼稚園での集団生活を体験すること等により社会性の発達に資するもの。</p> <p>私立幼稚園の入園料、保育料の一部について、市民税所得割の区分に応じて減免する幼稚園に対し補助金を交付する。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">対象人数</td> <td style="text-align: center;">補助金額</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td style="text-align: center;">1,037人</td> <td style="text-align: center;">89,640千円</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td style="text-align: center;">1,098人</td> <td style="text-align: center;">94,333千円</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td style="text-align: center;">655人</td> <td style="text-align: center;">59,534千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>子育てしやすい環境を整えるため継続実施する。</p>		対象人数	補助金額	25年度	1,037人	89,640千円	26年度	1,098人	94,333千円	27年度	655人	59,534千円
	対象人数	補助金額											
25年度	1,037人	89,640千円											
26年度	1,098人	94,333千円											
27年度	655人	59,534千円											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	交付人数	98%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	実績値は目標を下回っているが、対象者全て(全入園者数)に補助金を交付できた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント  <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small></p> <p style="text-align: center;"><small>子育てしやすい環境を整えるため継続実施する。</small></p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	006300	重点施策	ひとづくり	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	私立幼稚園第3子以降保育料無償化事業		所属名	健康こども部 こども家庭課

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	全期	
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	私立幼稚園第3子保育料軽減 子育て支援事業補助金交付要 綱	
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援			
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%		ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	補助金交付
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	私立幼稚園第3子以降保育料無償化事業補助金		予算事業コード	01-09-01-04-03-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	私立幼稚園
意図 (どのような状態 にするために)	私立幼稚園に通園する多子世帯の経済的負担の軽減及び子育てしやすい環境づくりを促進する。
手段 (どうするか)	第3子以降の児童に対し、保育料を無償化するため補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数70人	①補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数70人	①補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数70人	①補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数70人	①補助金交付 ・補助対象幼稚園 ・補助対象園児数	
	年度別実績	①補助金交付 ・補助対象幼稚園7園 ・補助対象園児数74人					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	7,106	0	0	0	0	
	直接経費 A	7,106	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,552	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	3,554	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	幼稚園数	園	目標	7	7	7	7	0	
		実績		7	0	0	0	0		
	(指標の説明) 私立幼稚園									
	2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
3		目標		0	0	0	0	0		
	実績		0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保育係 0857-20-3464</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P95 (健020)</p> <p>【事業の概要】 多子世帯において子育てにかかる経済的負担が大きく、多子世帯の幼稚園保育料を軽減することにより、経済的負担の軽減及び子育てしやすい環境づくりを促進するもの。保護者が幼稚園に支払う保育料から「同時在園保育料軽減」及び「就園奨励費補助金」を控除した額(補助対象経費)に10分の10を乗じて得た額を交付するもの。</p> <p>【事業の成果】 (補助実績) 25年度 202人 8,343千円 26年度 202人 7,933千円 27年度 201人 8,331千円 28年度 74人 7,106千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施するものである。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	幼稚園数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	順調
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	順調

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p style="text-align: center;"><small>子育てしやすい環境促進のため継続して事業実施するものである。</small></p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	006400	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	障害児地域療育等支援事業		所属名	健康こども部 こども発達・家庭支援センター

## 1. 基本情報

位置づけ の 目標	体系区分	コード	名称	事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち	事業期間	平成23年度 ～ 全期
	政策	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	根拠法令、 根拠計画等	鳥取県障がい児等地域療育支 援事業実施要綱
	施策	1201	結婚・出産・子育て支援		
目標の 種別	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分 ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	
	待機児童の数		0人	0人	
運営方法				直営	
会計区分				一般会計	
予算	予算事業名	障害児地域療育等支援事業費		予算事業コード	01-03-02-05-02-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	在宅の重症心身障がい児、知的障がい児、身体障がい児等
意図 (どのような状態 にするために)	在宅の重症心身障がい児、知的障がい児、身体障がい児の地域における生活支援のため、身近な地域で療育指導、相談等が受けられる療育環境を構築し、もって障がい者支援の向上、充実を図る。
手段 (どうするのか)	訪問療育等指導事業、外来療育等指導事業、施設支援一般指導事業及び相談実施。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 ①訪問療育等指導事業 ②外来療育等指導事業 ③施設支援一般指導事 業	平成29年度 ①訪問療育等指導事業 ②外来療育等指導事業 ③施設支援一般指導事 業	平成30年度 ①訪問療育等指導事業 ②外来療育等指導事業 ③施設支援一般指導事 業	平成31年度 ①訪問療育等指導事業 ②外来療育等指導事業 ③施設支援一般指導事 業	平成32年度 ①訪問療育等指導事業 ②外来療育等指導事業 ③施設支援一般指導事 業	
	年度別実績	①訪問療育等指導事業 :42件 ②外来療育等指導事業 :35件 ③施設支援一般指導事 業:48件					
	事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)
事業費	事業費(A+B)	3,989	0	0	0	0	
	直接経費 A	3,989	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	1,014	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	404	0	0	0	0
一般財源	2,571	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	訪問療育等指導件数	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		実績	42	50	50	50	50	0	0			
		(指標の説明)										
	2	目標	0	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0	0				
		(指標の説明)										
	3	目標	0	0	0	0	0	0				
		実績	0	0	0	0	0	0				
		(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 発達支援係 0857-33-4012</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P106 (健050)</p> <p>【事業の概要】 障がい児として認定されない年齢の乳幼児に対する専門指導による発達支援を早期から行うもの。 1. 在宅支援訪問療育等指導事業：家庭訪問による相談、指導 2. 在宅支援外来療育等指導事業：外来による相談、指導(単市事業) 3. 地域療育支援事業：担当職員による相談対応、サービス調整 4. 施設支援一般指導事業：保育園等への療育に関する技術指導</p> <p>【事業の成果】 在宅の発達に困難感を抱える児童の生活支援のため、身近な地域で療育指導を受け、相談ができるよう療育環境を構築し、児童の発達支援の向上・充実を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 障がい児として認定されない年齢の乳幼児に対する発達支援を早期から相談を受け、療育環境などの調整を行い、早期療育につながっている。また、施設支援により、障がい者支援の向上、充実を図ることができている。今後もより専門性、内容の充実を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	訪問療育等指導件数	84%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業実施できている。
事業の成果 <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	実績値は目標値を達成していないが、希望数により訪問件数が増減するものであり、H28は希望に対して100%実施できている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>発達上の困難を抱える児をもつ保護者にとって、今後の療育環境を構築について、安心して相談できる場所となっている。今後もより専門性、内容の充実を図る。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	006500	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	養育支援訪問事業		所属名	健康こども部 こども発達・家庭支援センター	

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成21年度 ~ 全期
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
1201	結婚・出産・子育て支援				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%	ソフト(任意)
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法
	待機児童の数		0人	0人	会計区分
予算	予算事業名	養育支援訪問事業費		予算事業コード	01-03-02-01-60-02

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子育て不安が強い妊婦や、若年での出産や養育者が産後うつ状態であったり子育てに対して強い不安や孤立感等を抱えているなど、養育の支援が特に必要と認められる家庭の児童及び養育者
意図 (どのような状態にするために)	十分な養育が行なわれるように支援する
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>産褥期の母子に対する育児指導や家事援助</li> <li>未熟児や多胎児等に対する育児指導や家事援助</li> <li>養育者に対する身体的・精神的不調状態に対する相談・指導</li> <li>若年の養育者に対する育児相談・指導</li> <li>児童が施設等を退所後にアフターケアを必要とする家庭等に対する養育相談・支援</li> <li>妊婦や養育者及び児童の心理的安定を図る為のカウンセリング</li> </ul>

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①CAPAIに家庭訪問支援員の派遣委託 ②非常勤の心理相談員によるカウンセリング	①CAPAIに家庭訪問支援員の派遣委託 ②非常勤の心理相談員によるカウンセリング	①CAPAIに家庭訪問支援員の派遣委託 ②非常勤の心理相談員によるカウンセリング	①CAPAIに家庭訪問支援員の派遣委託 ②非常勤の心理相談員によるカウンセリング	①CAPAIに家庭訪問支援員の派遣委託 ②非常勤の心理相談員によるカウンセリング	
	年度別実績	①CAPTA支援員による家庭訪問 11件、延べ475回 ②心理相談員によるカウンセリング 24人、延べ176回					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,814	0	0	0	0	
	直接経費 A	4,814	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	3,532	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,282	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	訪問支援員数	人	目標	5	5	5	5	5	
				実績	5	0	0	0	0	
	(指標の説明) 家庭訪問を行う支援員数の雇用数									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 家庭支援係0857-20-0122</p> <p>【10次総の施策体系】 1201</p> <p>【予算計上の経過】 NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取 (CAPTA)に委託、カウンセラーを雇うにあたり、必要な費用を計上。</p> <p>【事業の概要】 1 養育困難な状態にある養育家庭や児童養護施設等退所後の児童の家庭など特に支援を必要とする家庭に対し、支援員の家庭訪問による養育相談・支援をNPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取 (CAPTA)に委託し実施。 2 妊婦や出産後間もない養育者及び、養育が十分に行えていない養育者や児童養護施設等から児童の家庭復帰が予定されている養育者などに対し、雇上げ臨床心理士によるカウンセリングを週2回実施。</p> <p>【事業の成果】 事業の導入により、養育者による適切な養育が行われている。 訪問支援回数(延べ)      カウンセリング件数(述ベ)</p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>572回</td> <td>243件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>542回</td> <td>239件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>475回</td> <td>176件</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 核家族化及び、地域とのつながりの希薄など、家族での養育力が低下する傾向にあり今後も、安心して適切・充分に養育が行われるよう、支援していく必要がある。</p>	平成26年度	572回	243件	平成27年度	542回	239件	平成28年度	475回	176件
	平成26年度	572回	243件							
平成27年度	542回	239件								
平成28年度	475回	176件								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	訪問支援員数	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p><small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	
<p>事業の成果</p> <p><small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small></p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>養育者による家庭での養育が、安全に適切かつ十分に行われるように、家庭内で継続的に支援を行い、また、カウンセリングによる専門的な助言により、養育者の養育力を確保していくために必要かつ重要な事業であり、今後も事業の導入が必要な世帯の把握に努め、支援の拡充を図っていく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	006600	重点施策	該当なし	平成28年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	子どもの貧困対策推進事業		所属名	健康こども部 こども発達・家庭支援センター	

## 1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	10	安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち		事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度	
	02	安心して子どもを産み育てられるまちづくり		根拠法令、 根拠計画等		
1201	結婚・出産・子育て支援					
目標の 施策の	目標の種類別		平成28年度	平成32年度	事業分類区分	内部管理
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(父親)(H26年度:87.3%)		0%	90%		
	「子育てを楽しい」と思う市民の割合(母親)(H26年度:84.8%)		0%	88%	運営方法	直営
	待機児童の数		0人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	子どもの貧困対策推進事業費(国補正予算呼応分)		予算事業コード	01-03-02-01-64-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	支援が必要な子どもや家庭
意図 (どのような状態 にするために)	支援施策の有効的な実施
手段 (どうするか)	5歳児、小学校3年生、小学校6年生の児童の保護者に対し成育環境調査を行い、「鳥取市子どもの未来応援計画」(平成29年度から平成33年度までの5年間)を策定する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
内容	年度別計画	①5歳児、小学校3年生、小学校6年生の児童の保護者に対し、生育環境調査を実施 ②調査内容の分析 ③「鳥取市子どもの未来応援計画」を策定	H28で事業完了	H28で事業完了	H28で事業完了	H28で事業完了	
	年度別実績	①3,598家庭に調査票を配布し、1,173件回収 ②鳥取大学と共同分析 ③「鳥取市子どもの未来応援計画」を策定し公表					
事業費	区分	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	1,084	0	0	0	0	
	直接経費 A	1,084	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	809	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	275	0	0	0	0		

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
活動指標	1	「鳥取市子どもの未来応援計画」を策定	式	目標	1	0	0	0	0	
				実績	1	0	0	0	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 平成28年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】鳥取市こども発達・家庭支援センター 00857-20-0122
	【10次総の施策体系】1201
	【予算計上の経過】平成27年度 12月補正 繰越明許
	<b>【事業の概要】</b> 1 本市における子どもの貧困実態や支援ニーズ、資源量の実態を把握 2 支援が必要な家庭支援の有効的な実施のための検討 ①関係機関とのネットワーク体制・連携方法 ②推進体制の構築・整備 ③ニーズに応じた施策の検討 3 鳥取市の子どもを支援するための計画を作成
	<b>【事業の成果】</b> 1 5歳児、小学校3年生、小学校6年生の保護者に対し、成育環境調査を実施 2 1,173世帯より、調査票を回収 3 調査票を鳥取大学と共同で分析 4 「鳥取市子どもの未来応援計画」(平成29年～平成33年)。
<b>【今後の課題・方向性】</b> 今回の事業は、こどもを抱える家庭の生育の実態調査を実施することにより、ニーズを把握することができた。これを基礎に、29年度以降、①育ちと学びの保障、②生活基盤の安定、③地域社会とのつながりと居場所づくり、④子どものための包括的支援の拡充を目指していく。(※平成29年度からの所管は、こども家庭課となる。)	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指標達成率	1	「鳥取市子どもの未来応援計画」を策定	100%				
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>年度計画の進捗度</b> <small>[事業実績]タブの入力結果を基に、年度の事業計画が3月末時点でどのような進捗状況かを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	「鳥取市こどもの未来応援計画」を策定
<b>事業の成果</b> <small>[指標]タブの入力結果を基に、年度末実績が目標を達成できたかどうかを選択してください。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標どおり <input type="checkbox"/> 3. 目標を下回る <input type="checkbox"/>	「鳥取市こどもの未来応援計画」を策定し、目標設定のための施策を整理。また計画の概要を広報。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>調査から計画策定まで予定通り完了した。今後は子ども、家庭の支援に必要な事業を効果的に実施できるよう、関係機関等と調整を行っていく。</small>	